

令和8年度 学校評価計画表

五條市立西吉野農業高等学校No.1

教育目標	高い志をもち、広く社会や地域に貢献する自立した人材の育成						総合評価
運営方針	「不撓不屈」の校訓のもと、「土に学び土で育つ」をスローガンに定め、実学を重視した教育活動を展開する。「できないこと」が「できること」に変わる、生徒が日々成長する学校、「人生初の体験」を通して一歩踏み出す力を獲得し、通うことが楽しみな学校とし、「入学してよかった」と思える魅力ある学校づくりを実現する。 ・主体的に学び、変化する社会に対応できる確かな学力を培う。 ・他人を思いやる豊かな心を育て、人権を尊重し、社会に貢献する精神を育む。 ・健康、安全についての知識を深め、健康保持に努めるたくましい心身を養う。						
令和7年度の成果と課題		本年度重点目標			具体的目標		
○地元農家の協力を得て、実習を核にした実学教育を推進できた。 ○校外における学習を含めた教育課程を実践できた。 ●全国から生徒を募集しているが、募集定員を満たしていない。学校の魅力化や情報発信をさらに強化する。 ●農業の専門高校としての農業施設や設備の整備・充実が急務である。		◎基礎学力の定着と個に応じた進路指導を実現する。			○各科目で基礎知識の定着を図り、ICTを活用した授業改善を推進する。 ○自己分析や面談を徹底し、一人ひとりの希望に応じた進路決定を支援する。		
		◎安心で安全な学校づくりに努める。			○規範意識の向上といじめ防止を徹底し、誰もが安心できる環境を整える。 ○避難訓練や農場の安全管理を強化し、実習中の事故ゼロを継続する。		
		◎充実した学校生活を実感できる教育活動を実施する。			○行事や部活動を活性化し、生徒が主体的に活躍できる場を創出する。 ○農家実習や地域交流を充実させ、実体験を通じた学びの質を向上させる。		
		◎保護者や地域との連携を密にする。			○学校運営協議会等を通じて地域と密に連携し、学校への支援体制を築く。 ○SNS等を活用して学校の魅力を発信し、教育活動への理解を促進する。		
評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標		自己評価結果	成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策
総務	家庭や地域の関係機関との連携に向けて、具体的な取組を行う。	学校運営協議会を開催し、地域や育友会、地元協力農家との連携を密にして、広く協力と支援を求める。【目標 年2回】					
	式典や育友会総会などの行事を円滑に運営する。	事前準備や役割分担を綿密に行うとともに、実施案内を早期に行い、関係者や保護者が出席、参加しやすい体制作りに努める。【目標 実施1ヶ月以上前に案内】					
	広報活動を充実させ、本校教育活動への周知と理解を促す。	ホームページ、ブログ、インスタグラム等を通して、本校の特色や魅力の発信に努める。【目標 ブログ・インスタ更新週3回以上、インスタ各投稿の平均閲覧数500以上】					
学習指導	各科目において基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。	基本的事項と達成目標を明確にし、学習方法についても単元・教材ごとに確認する。【目標 単元テスト各教科学期に2回以上】					
	個性を生かし多様な人々との協働を促す教育を推進する。	校外での発表会や競技会・イベント等に積極的に参加する意欲を育み、顕著な成果をあげる。【目標 農業クラブ校外活動参加者のべ20名以上】					
	学習指導力の向上を図る。また、教員のICT活用指導力を向上する。	授業研究月間を設定し、教員間において積極的に授業参観することで、学習指導の研究を行う。また、同時に指導と評価の一体化の実施状況を確認する。【目標 参観参加1人平均3回以上】					

評価項目		具体的方策・評価指標	自己評価結果		成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策
生徒指導	規範意識の向上を図る。	高校生として当たり前のモラルを身につけさせ基本的ルール(挨拶、マナー、身だしなみ、言葉遣いなど)の指導を徹底する。【目標 出席率:毎月90%以上 特別指導10名以内】					
	いじめ防止に努める。	県いじめ防止対策基本方針に基づき、早期発見に努める。認知した場合は組織全体での対応し、各関係機関や保護者との連携を図る。【目標 年2回のアンケート実施】					
	安全教育を推進する。	命の大切さを深く認識させ、災害、交通ルール、不審者対応など危機管理の意識を高め、防災避難訓練の実施を行う。【目標 避難訓練参加率100%】					
進路指導	計画的な進路指導を行う。	HRを通して、進路実現に向けた準備を計画的に行う。【目標 進路HR実施年間4回以上(全学年)】					
	自己分析の徹底を図る。	自分の適性・興味・関心・価値観について知る。【目標 職業適性検査受検率100%(2年生)、自己分析についてのHR実施(全学年)】					
	希望進路の実現に向けた指導を行う。	学年と進路指導部が連携し、生徒個々の進路目標に向けたスケジュール管理と受験指導を行う。【目標 就職希望者内定率100%、第一志望合格率80%以上(4年生)】					
人権教育	人権感覚を育てる。	HR活動をととして、人権に関する理解を深め、自尊心を高めるとともに、他人を思いやる豊かな心を養う。【目標 人権HRの実施、年間4回以上】					
	安心できる環境づくりに努める。	他分掌と連携し、生徒が安心できる環境づくりに努める。【目標 「学校は安心できる環境づくりに取り組んでいますか。」というアンケート項目への回答で、「そう思う」80%以上】					
	生徒を支援する体制を整える。	生徒観察等を通じ特別支援計画の対象者を絞り込み、三者面談で意向を確認し作成する。【目標 7月までに特別支援計画を作成】					
保健体育	体育行事への参加を推進する。	体育行事の内容や時期などの精査を行い、また、運営などに生徒を積極的に参加させることにより、参加意欲の推進を図る。【目標 出席率95%以上】					
	食育指導の徹底を図る。	欠食アンケートの実施や体カテストのアンケートをもとに、食習慣の実態を把握し、関係教科や三者面談で、食育の推進を図る。【目標 欠食率15%以下】					
	健康管理指導を徹底する。	家庭等と協力し、生徒の健康状態の把握や健康管理指導を行うために、健康診断結果通知や受診勧告などを積極的に行う。【目標 受診率35%以上】					

評価項目	具体的目標 (評価小項目)	具体的方策・評価指標	自己評価結果		成果と課題(評価結果の分析)	改善方策等	学校関係者評価(結果・分析)及び改善方策
第1学年	基本的な生活習慣を確立する。	4年間の学校生活を送るための土台作りを目指し、正しい生活リズムを身に付け、欠席や遅刻のないように指導する。【目標 出席率90%以上】					
	礼儀・マナーを習得させる。	挨拶や服装、言葉遣い、時間厳守など生きていくために必要な力を身に付けることができるよう指導を徹底する。【目標 年間で入室カードの記入を一人平均5回以内】					
第2学年	自己管理能力を向上させる	日頃から体調を整え、自身の体調を自身で管理することで、円滑な学校生活を送らせる。【目標 年間で入室カードの記入を一人平均5回以内】					
	農家実習を充実させる。	農家実習を通してルール遵守を意識させ、挨拶、態度、服装などの指導を行う。体調管理に注意させ、欠席をできるだけさせないようにする。【目標 農家実習の出席率95%以上】					
第3学年	社会性やモラル意識を向上させる。	今後の社会生活に向けて、農業科目を通じて、農家実習前・農家実習中、挨拶、態度、服装、言葉遣いなどの指導を行う。 【目標 農家実習の出席率97%以上】					
	具体的な進路の方向性を決定する。	進路について調べ、知識や情報を得て方向性を見出すことで、来年度の進路決定がスムーズに運ぶよう準備させる。 【目標 各学期2回進路相談を実施】					
第4学年	規範意識を向上させる。	社会人として必要な礼儀作法や規範意識を身に付けさせ、また、場をわきまえ、他者を思いやる言動ができるようにする。 【目標 毎日HRで服装・挨拶礼の作法を確認】					
	進路決定に向けた準備に努める。	進路について調べ、自己分析をして方向性を見出すことで、進路決定がスムーズに運ぶよう準備させる。 【目標 進路相談を月1回以上実施】					
農業科	安全・安心な農場作りを行う。	増設した温室やカキ圃場を有効かつ安全に活用し、安心して実践的・探求的な学習活動を行える農場作りに努める。 【目標 実習での事故0件】					
	農家実習で学びを深化させる。	農家実習後、学んだ知識や技術を毎回記録簿に整理させるとともに、思考力、表現力を育成する。 【目標 記録簿提出100%】					
	地域交流の活性化を図る。	地域交流を基にした研究活動により、農業に関する課題を合理的かつ創造的に解決する力を育む。 【目標 地域交流活動年間5回以上】					